

地理B What kind of country is Zambia?【補足プリント】

1. 独立 1964年10月24日

- 東京オリンピックの閉会式の日（10月23日）にイギリスから独立。閉会式に選手団はザンビアとして参加した。

2. 銅の産出国

- ① カッパーベルト（教科書 P124）があり、銅の産出国。ここ 20 年の銅の国際価格上昇に伴って急速に経済発展を遂げた。
- ② 特に発展の背景にあるのが中国での銅の需要。



（教科書 P275）

近年では、資源確保の目的から（アフリカへの）中国の進出が著しく、経済・政治の両面で結びつきが強まりつつある。

3. ザンビアの課題を知ることがなぜ日本の課題解決に役立つのか？

【EXPERT】

① 銅と環境汚染

- ザンビアの経済成長を支えているのが銅であるが、環境汚染の要因ともなっている。
- モノカルチャー（教科書 P164）の不安定さ。
- ザンビアは97%が水力発電。ザンベジ川にカリバダム（資料集 P88）が建設され、その多くは銅の精錬に利用される。しかし、降水量が不足すると安定した電力供給ができない。

② ザンビアの産業

- ザンビアでは輸入していた日用品を国内で生産する輸入代替型工業（教科書 P142）が行われている。
- 産業革命以降、工業化が進行し、社会が発展した。国の発展に欠かせないのが工業。先進国とは、先進工業国でもある。
- 日本も含め、国の発展に欠かせないのが工業製品を海外へ売って外貨を得ること。（輸出指向型工業 P142）
- ザンビアのショッピングモールで売っている製品のほとんどは南アフリカ製。

③ ザンビアの教育

- 初等学校へは多くの子どもたちが通えるようになったが、教育の質など多くの課題がある。（ザンビアで竹村が訪れたシムカレ初等学校はークラス 60 人の生徒がいて、机とイスがない子どもたちもいる。学校に電気はなく、教室は暗い。）
- 女子が教育を受けるための課題も多く、児童婚や妊娠によって学ぶ機会を奪われることもある。

④ コレラ

- コレラが大発生し、死者が出ている。
- コレラの発生によって教育機関の閉鎖や路上での生鮮食品の販売が禁止されるなど社会活動や経済活動にも影響が出ている。
- 上下水道の整っていない地域も多く、安全な水にアクセスできないことや、ごみ問題（現在稼働中のゴミ処理施設がない）もコレラをはじめ、病気の温床となっている。